

# 市長のいきいきタウントークを開催しました

10月16日から18日にかけて、平成26年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」を市内3会場で開催しました。

会場には3日間で延べ151名の市民の皆さんが参加され、市政に対する多くのご意見・ご要望が寄せられました。

いただいたご意見等は、今後のまちづくりに活かしていきます。

■ 問い合わせ先  
総合政策課 ☎(40)55550



**ご意見・ご要望等の内訳**

生活基盤	8件
保健・福祉	2件
教育・文化	3件
市民生活	2件
行財政	4件
施設	2件
その他	2件
合計	23件

日時	会場	参加者	意見要望
10月16日(木) 午後7時～	きらら館	64名	7件
10月17日(金) 午後7時～	コミュニティセンター 友愛館	50名	6件
10月18日(土) 午前10時～	南河内公民館	37名	10件
合計		151名	23件

**A** 環境省や栃木県から推薦をいただいた廃棄物学者2名と法律学者2名、構成市町（2市2町）の住民代表各1名の計8名で構成する検証委員会を発足し、検証を実施しています。

裁判における争点の置き方や一連の流れについて、検証委員会において平成27年度中に検証を行い、検証結果については、小山広域保健衛生組合の議会、各市町の議会へ報告された後、各市町の住民の皆さんへ報告する予定です。

**Q** 広報8月号に、小山広域保健衛生組合の訴訟の和解が成立したこと及び今後、今回の訴訟について検証を行い、再発防止に努める旨が掲載されていたが、検証は誰が、どのように実施しているのか。

**A** 環境省や栃木県から推薦をいただいた廃棄物学者2名と法律学者2名、構成市町（2市2町）の住民代表各1名の計8名で構成する検証委員会を発足し、検証を実施しています。

ご意見等と市の回答の一部（要約）を紹介します。

全ての一覧は、総合政策課（国分寺庁舎2階）及び市ホームページでご覧いただけます。

**小山広域保健衛生組合訴訟問題の検証は誰が？**

**Q** 発足後3年を迎えた栄町自主防災会では、災害時の活動訓練により問題点を把握し改善を図ることを目標に掲げている。そのためどのような訓練を実施したらよいか検討している。

8月に市と栃木県が共催で実施した総合防災訓練に参加したが、訓練の規模が大きすぎて、「もつと身近な、地域単位の訓練を実施したい。」などの意見が出た。

市内の自主防災組織を対象とした防災訓練を実施できないか。

また、各自主防災組織内の訓練について、訓練方法やマニュアルの提供などの支援はあるのか。

**A** 市では、毎年防災訓練を実施し、自主防災組織の皆様にもご参加いただいています。

また、各自主防災組織内の訓練の支援については、消防組合や地元消防団及び各自主防災組織と連携を図りながら検討してまいります。

市では、平成26年11月に「下野市避難所運営マニュアル」及び「下野市備蓄マニュアル」を作成しました。

詳しくは8ページをご覧ください。

**自主防災組織の支援**